



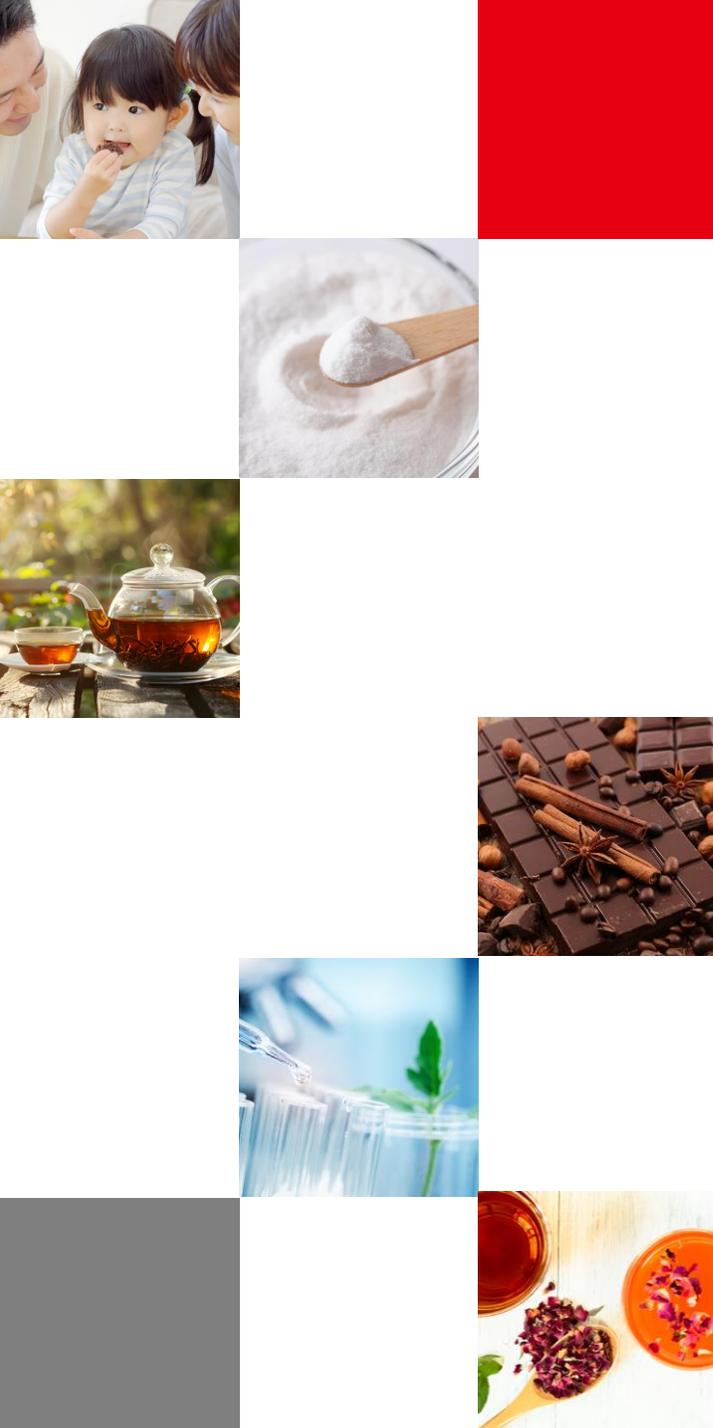
meito

東証プライム市場・名証プレミアム市場
証券コード：2207

決算説明資料

名糖産業株式会社

2024年11月22日



目次

01	2025年3月期 中間期決算概要	P. 2
02	2025年3月期 業績予想	P.11
03	中期経営計画進捗状況	P.15
04	Appendix	P.27



1

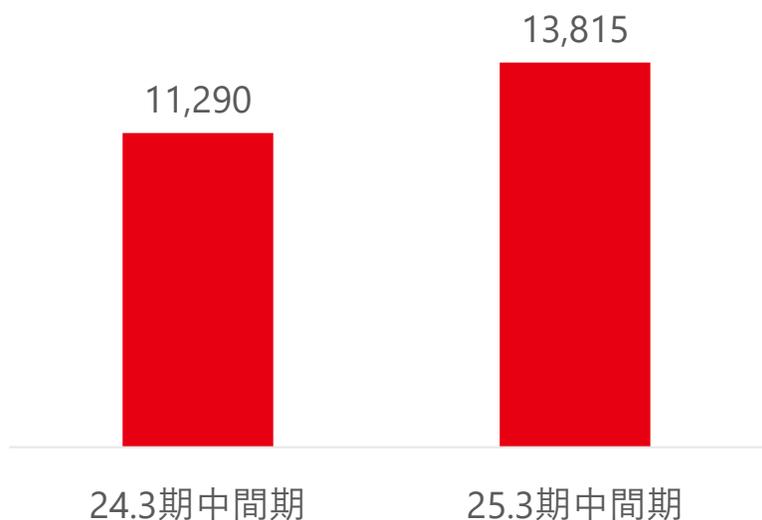
2025年3月期 中間期決算概要



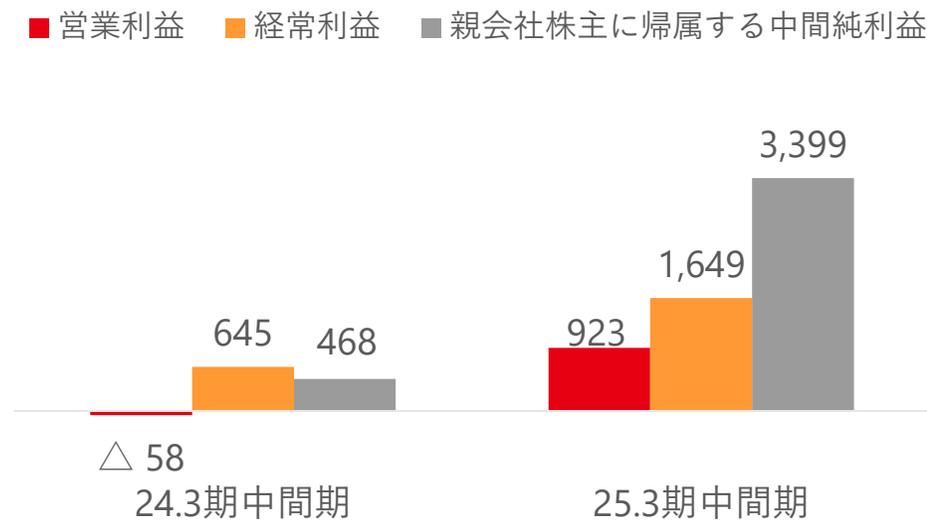
- 売上高 : 子会社化したおいもやの売上の純増分もあり、前年同期比22.4%増の13,815百万円
- 営業利益 : 増収や商品内容量変更・価格改定効果、子会社の業績好調等により、923百万円
- 経常利益 : 受取配当金が増加したことなどにより、155.5%増の1,649百万円
- 中間純利益* : 有価証券売却益2,754百万円を特別利益に計上し、626.0%増の3,399百万円

*親会社株主に帰属する中間純利益

売上高 (単位：百万円)



利益 (単位：百万円)



※ 2024年2月においもやと平松商店の株式を取得し子会社化。当中間期より、両社の売上・利益が加わりました。

(単位：百万円)

	24.3期中間期	25.3期中間期		
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	11,290	13,815	2,524	22.4%
食品事業	9,674	12,006	2,331	24.1%
化成品事業	1,474	1,670	195	13.3%
不動産事業	142	138	△3	△ 2.3%
売上総利益	2,358	4,284	1,926	81.7%
売上総利益率	20.9%	31.0%	—	—
販売管理費	2,416	3,360	943	39.1%
営業利益又は営業損失	△ 58	923	982	—
営業利益率	△ 0.5%	6.7%	—	—
受取配当金	526	604	77	14.7%
経常利益	645	1,649	1,004	155.5%
経常利益率	5.7%	11.9%	—	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	468	3,399	2,930	626.0%
中間純利益率	4.2%	24.6%	—	—
EPS (1株当たり中間純利益)	27.69	200.88	—	—

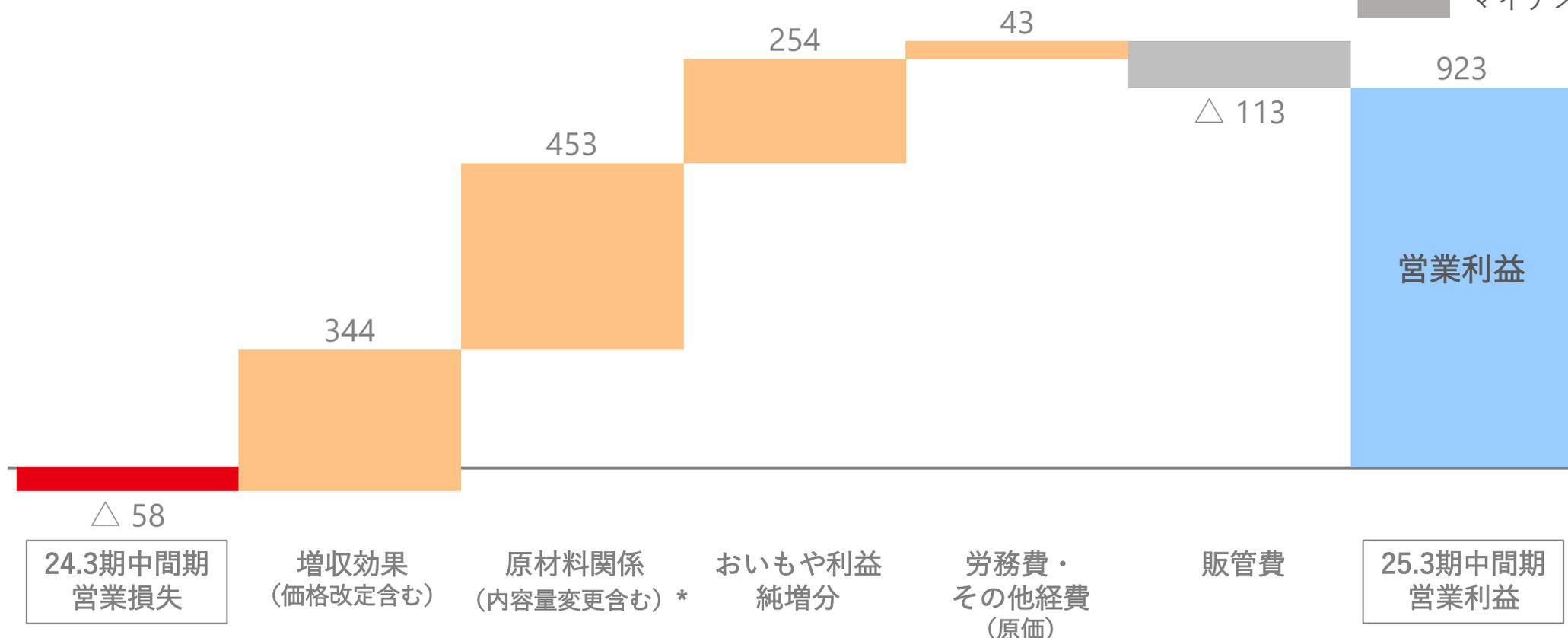
営業利益増減分析（前年同期比）



原材料高騰の中、売上高の増加や商品の内容量変更・価格改定の実施に加えて、おいもやの利益が加わったことなどにより増益

(単位：百万円)

プラス要因
 マイナス要因



* 原材料価格の高騰に対して、一部商品の内容量変更を実施したことによる利益改善

セグメント別業績



(単位：百万円)

売上高	24.3期中間期		25.3期中間期			
	実績	構成比	実績	増減額	増減比	構成比
食品事業	9,674	85.7%	12,006	2,331	24.1%	86.9%
化成品事業	1,474	13.1%	1,670	195	13.3%	12.1%
不動産事業	142	1.3%	138	△3	△2.3%	1.0%
合計	11,290	100.0%	13,815	2,524	22.4%	100.0%

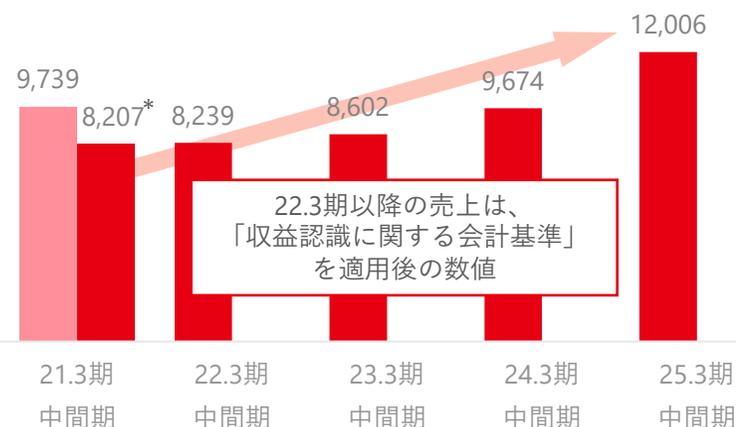
セグメント利益	24.3期中間期		25.3期中間期			
	実績	構成比	実績	増減額	増減比	構成比
食品事業	6	2.0%	913	907	14,052.0%	64.8%
化成品事業	269	82.6%	450	181	67.4%	31.9%
不動産事業	50	15.4%	46	△3	△7.7%	3.3%
小計	325	100.0%	1,410	1,084	332.9%	100.0%
調整額	△ 384	-	△ 486	-	-	-
合計	△ 58	-	923	982	-	-

24.1%増収、営業利益は大幅増益

- 内容量変更や価格改定の実施に加え、おいもやの利益が加わったことや、その他の子会社の業績が好調に推移したことなどにより増収増益
- 中核ブランドの販売促進プロモーションを展開したこと、子会社化した株式会社おいもやの売上寄与により、主力の菓子部門が増収
- 中核ブランドの「アルファベットチョコレート」などの売上は引き続き好調であったが、受託商品の売上が減少し、チョコレート類は前年同期並み
- 子会社の株式会社エースベーカーは、バウムクーヘン類の売上が減少するも、ゼリー類が大きく伸長したことにより増収
- 粉末飲料部門は、ココア類の売上が増加したが、「ロイヤルミルクティー」や分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズの売上が落ち込み減収
- 冷菓部門は、猛暑の影響もあり、自社商品、受託商品ともに好調に推移し、増収

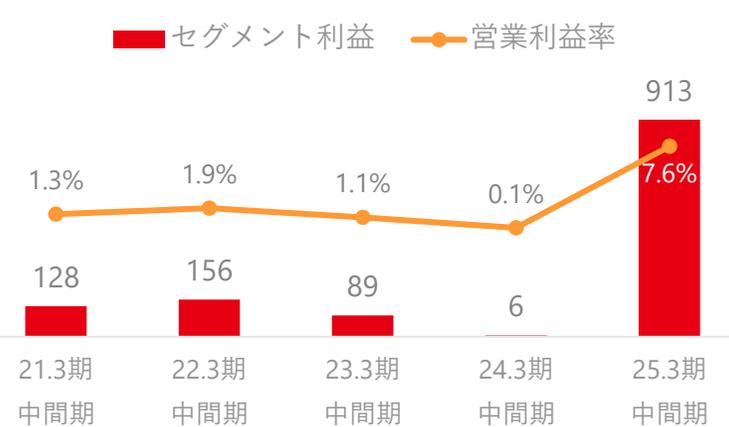
売上推移

(単位：百万円)



セグメント利益推移

(単位：百万円)



売上詳細

(単位：百万円)

	21.3期中間期	22.3期中間期	23.3期中間期	24.3期中間期	25.3期中間期
菓子部門	7,140	6,116	6,292	7,165	9,307
粉末飲料部門	1,326	959	936	1,050	1,000
冷菓部門	1,145	1,013	1,209	1,278	1,480
その他	126	151	164	179	217
合計	9,739	8,239	8,602	9,674	12,006

* 「収益認識に関する会計基準」を適用した場合の売上の数値

13.3%増収、67.4%営業増益

- 精力的な営業活動の推進や利益率の高い製品の販売好調により、増収増益
- 酵素部門は、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」とともに、海外市場での売上を拡大
- 薬品部門は、乳癌転移検出用医療機器で使用される「デキストランマグネタイト」の売上が大きく伸長

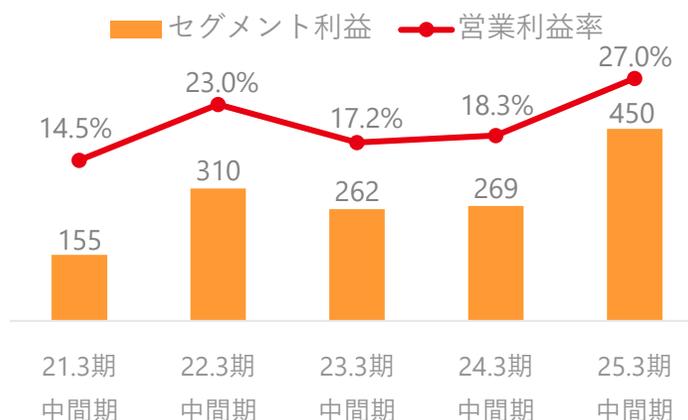
売上推移

(単位：百万円)



セグメント利益推移

(単位：百万円)



売上詳細

(単位：百万円)

	21.3期 中間期	22.3期 中間期	23.3期 中間期	24.3期 中間期	25.3期 中間期
酵素部門	531	764	893	836	948
薬品部門	452	497	537	542	628
その他	91	89	101	94	92
合計	1,075	1,351	1,532	1,474	1,670
海外売上	555	758	1,015	937	1,137

セグメント別業績 不動産事業（ゴルフ場・不動産賃貸）

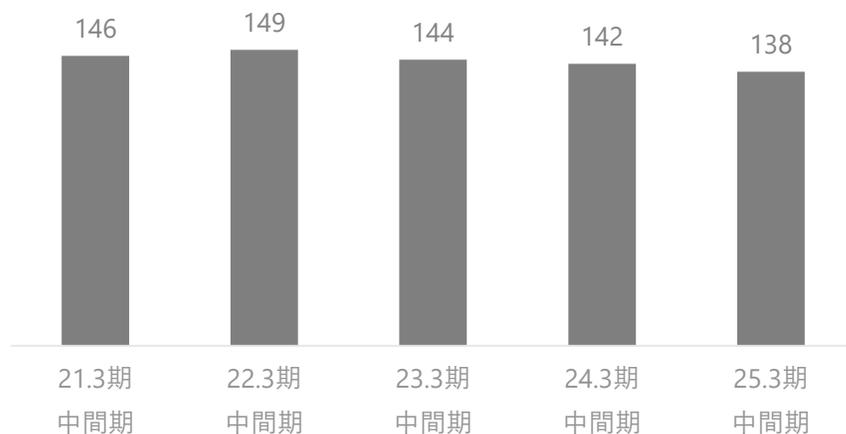


2.3%減収、7.7%営業減益

- 賃貸駐車場を売却したことなどにより、減収減益

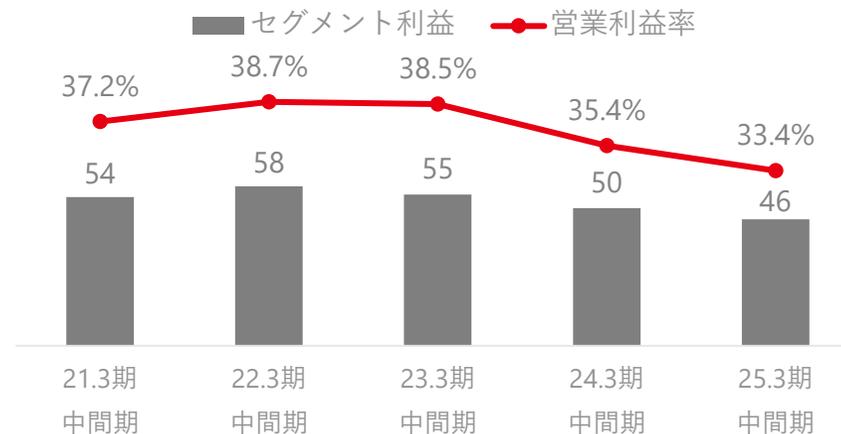
売上推移

(単位：百万円)



セグメント利益推移

(単位：百万円)



貸借対照表

(単位：百万円)

	24.3期末	25.3期中間期末	
	実績	実績	増減額
流動資産	16,998	18,281	1,283
現預金	6,362	7,963	1,600
受取手形及び売掛金	6,119	5,045	△ 1,073
商品及び製品	1,756	2,107	351
原材料及び貯蔵品	1,507	2,203	696
固定資産	65,249	63,875	△1,373
有形固定資産	18,843	18,759	△ 83
投資有価証券	43,793	42,500	△ 1,293 *1
流動負債	10,998	9,027	△ 1,970
支払手形及び買掛金	3,067	3,195	128
短期借入金	3,070	350	△ 2,720 *2
長期（1年以内）借入金	765	765	0
未払法人税等	232	1,222	989
固定負債	20,180	19,716	△ 463
長期借入金	9,079	8,696	△ 382
繰延税金負債	8,058	7,925	△ 133
純資産	51,068	53,412	2,343
負債純資産	82,247	82,157	△ 90

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	24.3期中間期	25.3期中間期	
	実績	実績	増減額
営業CF	1,579	2,022	443
投資CF	△ 1,040	2,953	3,993
財務CF	△ 507	△ 3,375	△ 2,868
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	32	1,600	1,568
期首残高	5,351	6,362	1,010
期末残高	5,384	7,963	2,579

*1 投資有価証券売却

*2 借入金の返済



2

2025年3月期 業績予想



2025年3月期業績予想



(単位：百万円)

	24.3期	25.3期				増減額	増減比
	実績	期首予想	予想 (2024年7月16日公表)	修正予想 (2024年11月8日公表)			
売上高	24,392	28,000	28,000	28,000	3,607	14.8%	
営業利益	232	800	800	1,200	967	417.1%	
営業利益率	1.0%	2.9%	2.9%	4.3%			
経常利益	1,430	2,000	2,000	2,400	969	67.8%	
経常利益率	5.9%	7.1%	7.1%	8.6%			
親会社株主に帰属する 当期純利益	△703	1,400	4,000	4,400	5,103	—	
当期純利益率	—	5.0%	14.3%	15.7%			
EPS (一株当たり当期純利益)	△41.59円	82.76円	236.45円	260.10円	—	—	
一株配当	28円	30円	30円	33円	—	—	
配当性向	—	36.3%	12.7%	12.7%	—	—	

2025年3月期セグメント別業績予想



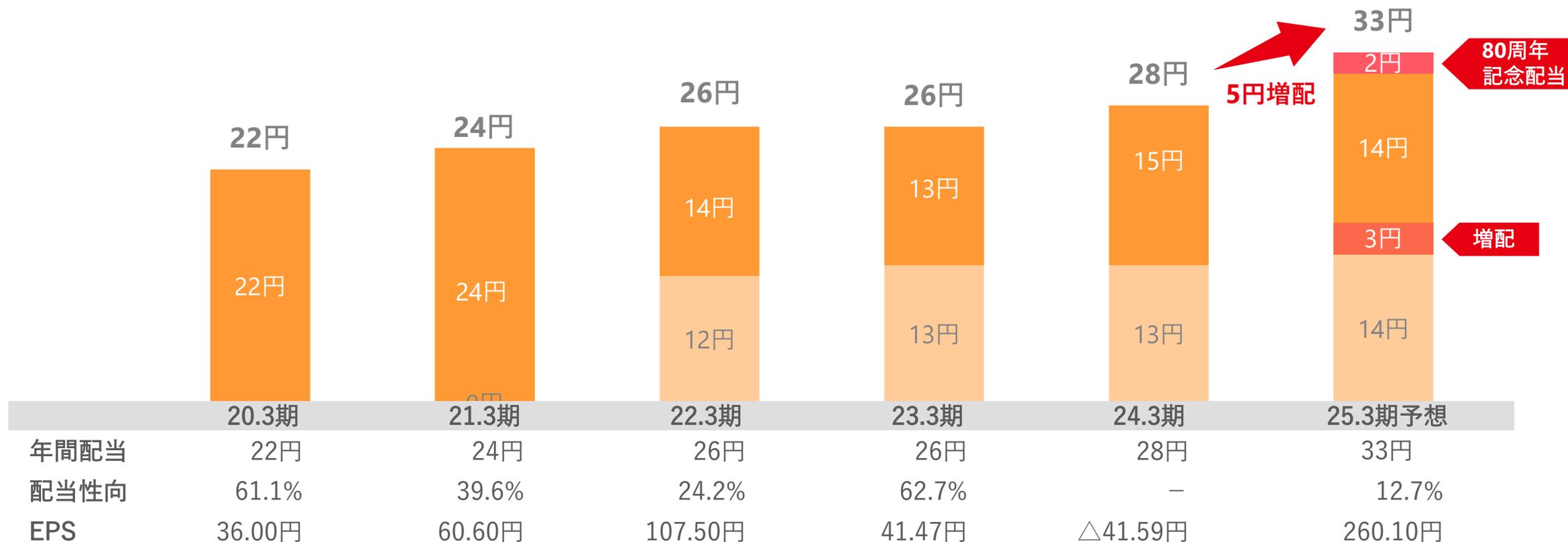
(単位：百万円)

売上高	24.3期		25.3期			
	実績	構成比	予想	増減額	増減比	構成比
食品事業	21,035	86.2%	24,350	3,314	15.8%	87.0%
化成品事業	3,074	12.6%	3,350	275	9.0%	12.0%
不動産事業	283	1.2%	300	16	6.0%	1.0%
合計	24,392	100.0%	28,000	3,607	14.8%	100.0%

一株当たり配当金及び配当性向の推移

* 2022年3月期より中間配当を実施

■ 中間配当 ■ 期末配当





3

中期経営計画進捗状況

MEITO CHALLENGE 2026



スローガン

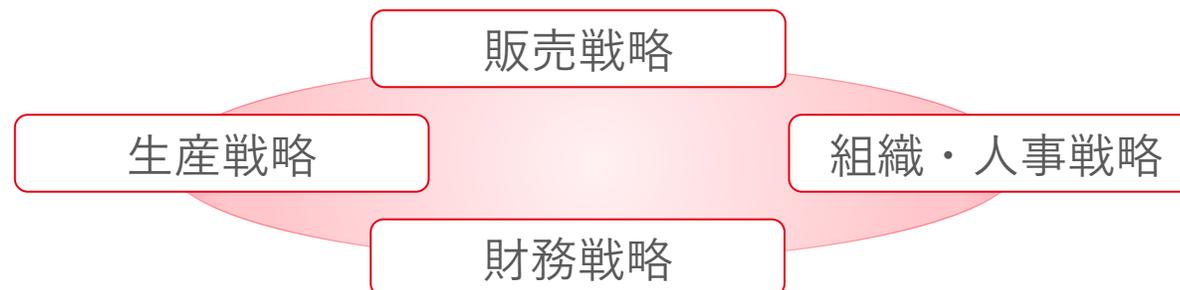
Challenge for the future

未来を創造する挑戦

コンセプト

- 持続的な成長に資するバックキャスト思考
- 事業ポートフォリオの最適化に向けた戦略の推進
- 人的資本、資本コスト・株価を意識した経営の強化

成長戦略



2025年3月期を初年度とする3ヵ年計画である新中期経営計画を策定

27.3期経営目標

売上高

300億円

営業利益

18.0億円

経常利益

30.0億円

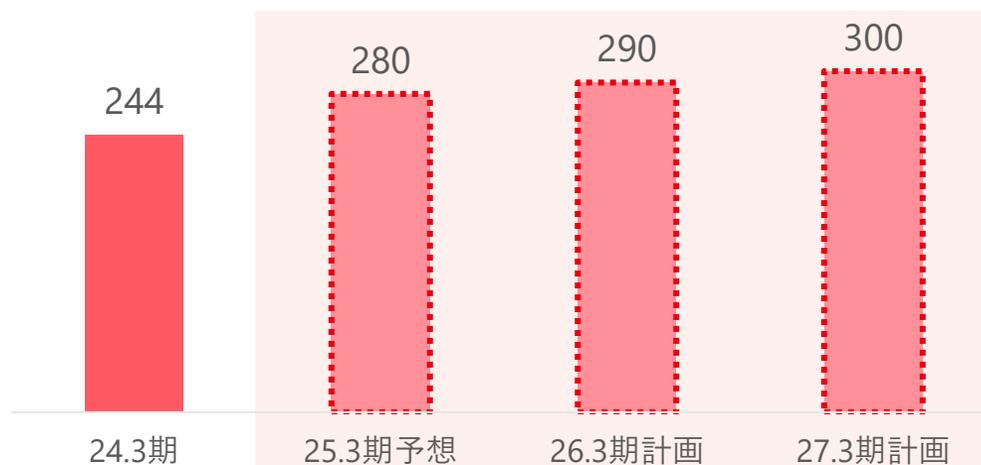
ROE

5.0%以上

PBR

1.0倍以上

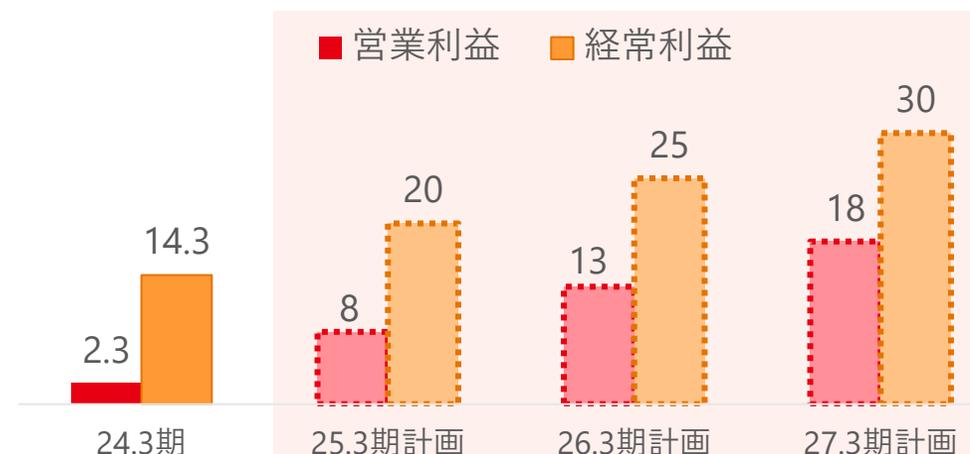
売上高（億円）



MC 2023

MEITO CHALLENGE 2026

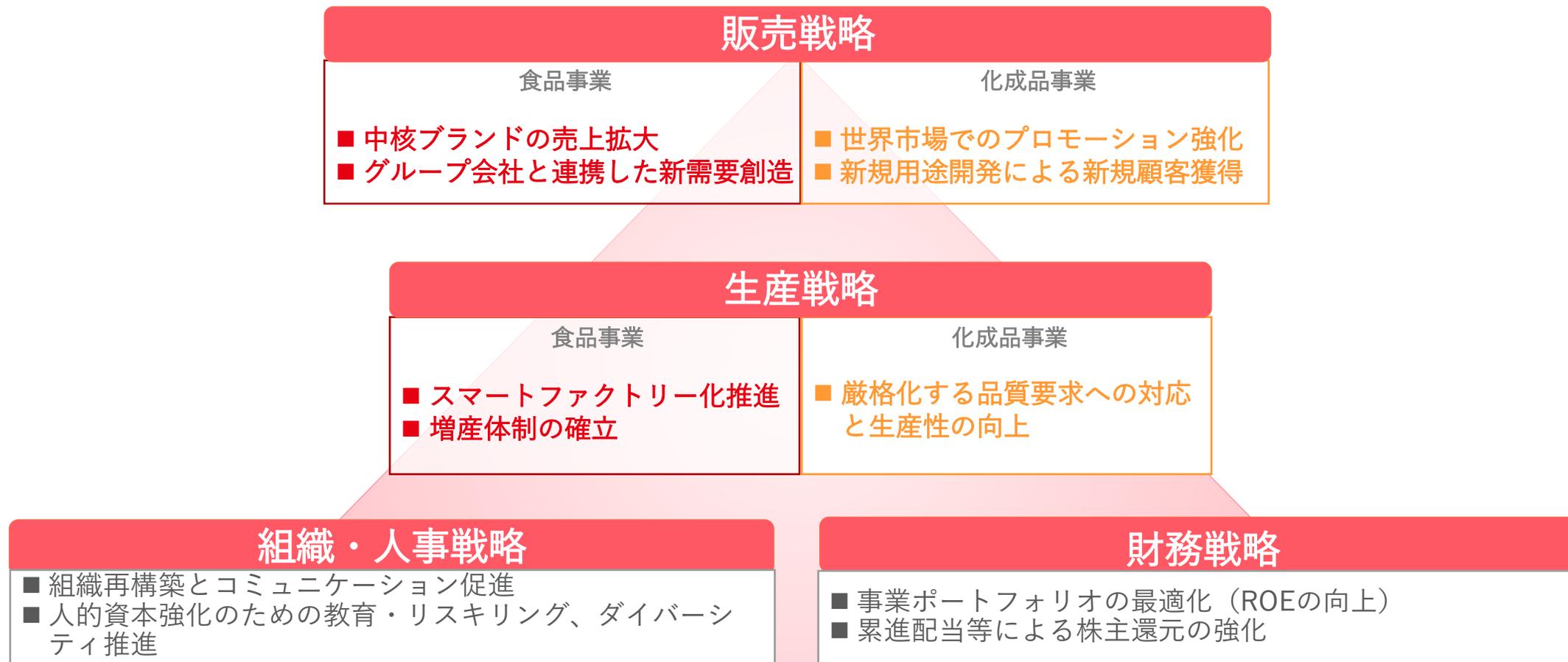
利益（億円）



MC 2023

MEITO CHALLENGE 2026

経営目標達成を目指し、4つの成長戦略に取り組む



成長戦略

2025年3月期上期進捗状況

販売戦略

食品事業

- 中核ブランドへの戦略的な経営資源投入による売上拡大
- グループ会社間のシナジー強化を含む新需要の創造

化成品事業

- 高付加価値製品の世界市場でのプロモーション強化（グローバルニッチトップの維持）
- 新規用途開発による新規顧客獲得

生産戦略

食品事業

- 安全・品質・生産の向上に直結するDX化（スマートファクトリー化）
- 設備投資・増員及び予知予防保全による増産体制の確立

化成品事業

- 製造技術・プロセスの最適化及び設備増強、増員による厳格化する品質要求への対応と生産性の向上

組織戦略

- 組織力向上のための組織再構築、コミュニケーション促進（課題解決プロジェクト発足、グループ会社間交流）
- 人的資本強化のための教育・リスクリングの充実（拡充）及びダイバーシティ推進

財務戦略

- 経営資源の再配分による事業ポートフォリオの最適化（ROEの向上）
- 累進配当等による株主還元強化

食品事業

- 中核ブランド「アルファベットチョコレート」、「ぷくぷくたい」のプロモーションを展開。スティックメイトのブランドパーパスを制定

化成品事業

- 高付加価値製品であるリパーゼ類のEU、米国における販売認証申請及び取得の継続
- デキストラン誘導体、リパーゼの化粧品用途での海外プロモーション

食品事業

- 生産工程システムの全食品工場への導入準備
- 下期からの増産に向けた設備保全を実施

化成品事業

- 東京研究所、八王子工場においてGMP管理システムの導入完了
- 枇杷島工場増員

- 食品、化成品事業それぞれにおいて戦略会議を発足
- ワークエンゲージメント向上に向け、人権ダイバーシティ部会の各支部での活動開始

- 保有株式銘柄の評価、分析を実施
- 金融資産の有効活用等の検討
- 今期中間配当金と今中計期間中の各年度において3円の増配を決定

新中期経営計画「MEITO CHALLENGE 2026」

販売戦略 食品事業—中核ブランドのプロモーション強化



- 4つの中核ブランドへ集中的に経営資源を投下し、プロモーションを展開
- CMの他にもブランドを活用した季節商品の展開や消費者キャンペーン、デザインリニューアル等を実施し、ブランド認知向上、売上拡大を図る

ブランド名	 <p>アルファベット チョコレート</p>	 <p>ぶくぶくたい</p>	 <p>スティックメイト</p>	 <p>レモンティー</p>
メインターゲット	ファミリー	親子	40～50代女性	30～50代女性
エリア	全国	全国	全国各エリア	近畿
プロモーション方法	<p>ラジオ/SNS</p>  <p>2024年9月より新たなCMを収録し、「山田 裕貴」のオールナイトニッポンでCMを放送！（毎週 月曜日）</p>	<p>テレビCM/SNS/グッズ</p>  <p>ぶくぶくたい発売 35周年記念商品発売、プレゼントキャンペーンを実施</p>	<p>テレビCM/SNS</p>  <p>ターゲットに好意的なデザインへリニューアル。バラエティー感を訴求したユーモアのあるCM</p>	<p>テレビCM/SNS/グッズ</p>  <p>懐かしさ・思い出を訴求したCM。商品クレジットに、新商品として『ピーチティー』を掲載</p>
実施時期	通期/10月	5月/9～2月	10月、1月	10～12月、3月

秋冬ラインナップ

菓子部門

チョコレート

アルファベットチョコレートブランド

アルファベットチョコレート たっぷり苺



甘酸っぱい苺の香りと、
苺の種のつぶつぶした
食感

アルファベットチョコレート
サクッとクレープミルクティー



香ばしいミルクティー
風味とサクサクした
クレープの食感

日本茶チョコレート 和みくらべ



3種類の日本茶を
楽しめるアソート
チョコレート

どんぐりぴくにつく



かわいいどん
ぐり型のチョコ
レート

優雅なレーズンバターサンド



ラムレーズンと
発酵バターが香る
贅沢な味わい

ぷくぷくたいブランド

ハピハピバースデーエアインチョコ

35周年記念



いちご香る
ホイップ
クリーム味

キャンディ

ジンジャーミルクキャンディ



まろやかなミルク風味
にしょうがの程よい辛
さがアクセント

秋冬ラインナップ

粉末飲料部門

冷菓部門

スティックメイトシリーズ

デザインリニューアル

「選ぶたのしさをすべての人に」
をブランドパーパスに掲げ、
開封しやすいスタンド
ボックスを採用



ピーチティー



国産白桃果汁を加えて
仕上げた本格派のピー
チティーミックス

星屑紅茶



お湯を注ぐと、星型の
あられ金平糖がゆっく
り浮かび上がり、甘さ
がとけ出す

あったかしょうが湯 アソート



高知県産の粉末しょ
うがを使用した4種
類のしょうが湯

ショコラーチェ



香り高いバニラアイスキャンデー
の中心に生クリームをふんだん
に使用した特製の生チョコレート
がたっぷり

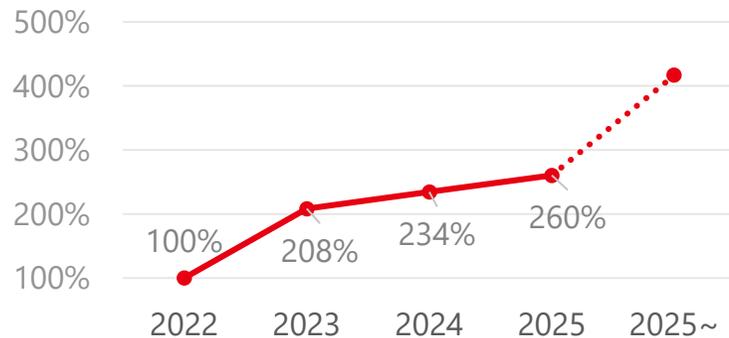
- リパーゼ類の世界市場におけるプロモーションを強化
- デキストラン誘導体等の化粧品用途での海外プロモーションを展開。化粧品輸出の伸びが期待される韓国で展示会に出典

酵素部門

EU、米国市場での展開を強化

- EU圏内での流通に不可欠である各種リパーゼ類のEU食品添加物酵素ポジティブリスト登録申請
- 米国における消化器系健康サプリメント原料としてのさらなる拡売に向け、主力リパーゼ（リパーゼOF）のGRAS通知申請

当社の米国・サプリメント用途リパーゼ類の販売実績



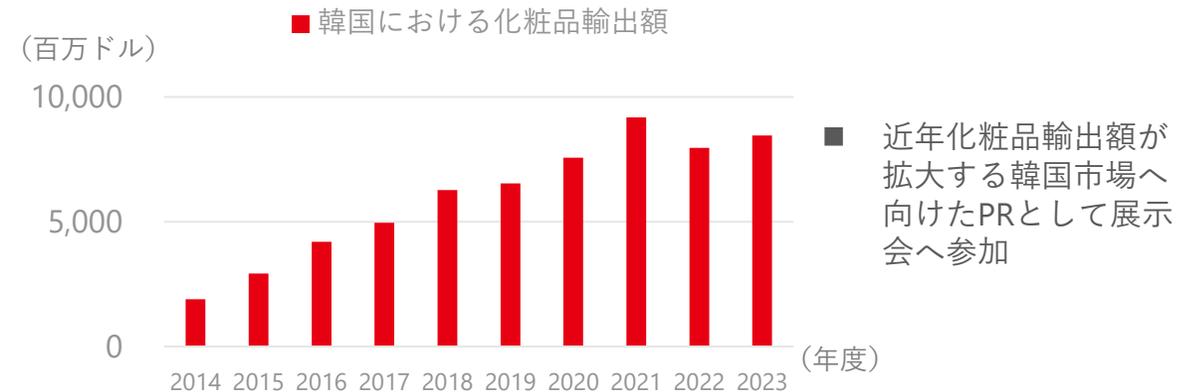
■ 消化器系健康サプリメントの世界的なニーズの高まりを背景に、順調に推移

薬品部門

化粧品用途での売上拡大を目指す

- 化粧品輸出額が増加している韓国を足掛かりに、デキストラン誘導体の化粧品用途での世界市場への展開を目指す

韓国化粧品市場へ向けてプロモーションを展開



出典:韓国化粧品協会

■ カカオ原料高騰に対する取組みの推進

カカオ豆相場高騰への対応

✓ カカオ豆調達先の追加を検討

- 2023年からカカオ豆が高騰。2024年春先のピークから下落したものの、2022年時と比べると未だ高水準
- 価格高騰は主要生産国における気候変動等を原因とした不作と投機筋の介入であり、需給バランスの崩れは未だ改善されていない為、今後も不安定な状態が続くと予想される
- 対策として新たに複数の産地のカカオ豆を購入。来年春以降生産する商品の原料として使用予定



チョコレート製品への価格転嫁を実施

✓ 価格改定および内容量変更を実施

- カカオ豆高騰に伴い、チョコレートの消費者物価指数も上昇している
- 昨年度に続き上期（7、9月）に対策を実施したものの売上は維持できており、収益性は改善



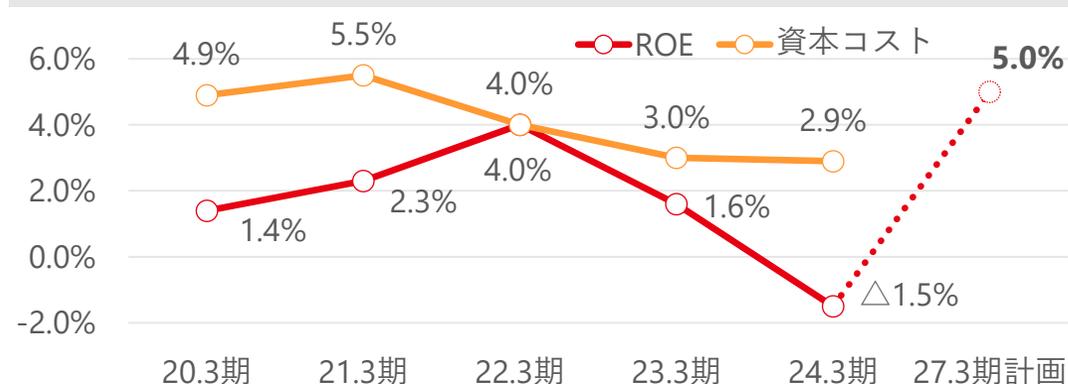
出典：総務省 消費者物価指数

- 経営資源の再配分（政策保有株式の縮減を含む）による事業ポートフォリオの最適化（ROEの向上）
- 累進配当による株主還元の強化 2027年3月期までに1株当たり43円
- 課題は、①収益力の向上と資本効率の改善、②継続的かつ安定的な株主還元

PBR推移

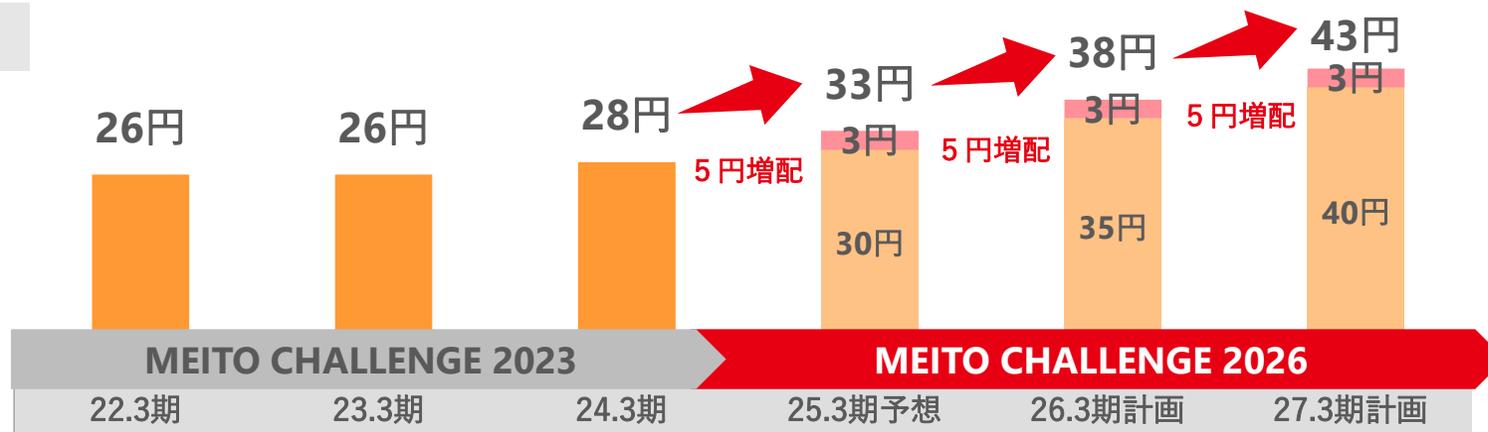


ROEと株主資本コスト比較



配当方針（累進配当を継続）

当社は将来に向けた成長投資を行い、収益力の向上と資本効率の改善を図りつつ、株主の皆様に対しては安定的な配当を維持継続することを利益配分の基本とし、累進配当を継続して実施する方針。業績動向等を勘案し、中間配当金と中計期間中の各年度の配当金に関するKPIについて、3円の増配（年間5円ずつ増配する計画）を決定。（2024年8月9日発表）



販売戦略

食品事業

- 「スティックメイト」、「レモンティー」のブランド強化に向けたプロモーションを実施するほか、「アルファベットチョコレート」の期間限定商品やプレゼントキャンペーン、ラジオCMを実施
- グループ会社とのコラボ商品発売予定。またブランディング戦略として来冬に東京、名古屋でポップアップショップやキッチンカーを展開

化成品事業

- 各種リパーゼ類のEU食品添加物酵素ポジティブリスト登録申請の継続、主力リパーゼ（リパーゼOF）のGRAS通知申請完了
- EU食品添加物酵素ポジティブリスト申請完了による新規開拓

生産戦略

食品事業

- 生産工程システムを全食品工場に導入し、生産計画、発注、生産、配送までを一元化
- 生産効率アップのための包装機や製袋機の更新および準備

化成品事業

- 名古屋研究所、枇杷島工場にGMP管理システムの導入
- 上期に続き枇杷島工場増員、DSやADの製造設備の増強

組織戦略

- 食品、化成品事業それぞれにて利益体質、情報共有の早期化に資する組織を再構築し、検討課題の洗い出しを行う
- 社員のワークエンゲージメント向上も意識した近隣企業と連携した地域貢献活動を実施
- 社内外の女性管理職をロールモデルとした講演会、座談会等を計画

財務戦略

- 食品、化成品各戦略会議において投資先、規模、時期およびその後の将来利益計画を策定
- 引き続き今後の業績動向、経営環境を考慮した株主還元強化を随時検討



4

Appendix

会社概要



(2024年9月末)

社名	名糖産業株式会社 (Meito Sangyo Co., Ltd.)		
本社	愛知県名古屋市西区笹塚町二丁目41番地		
代表者	代表取締役社長 三矢 益夫		
設立	1945年2月		
資本金	13億3,519万円		
証券コード	2207 (東京証券取引所 プライム市場、名古屋証券取引所 プレミア市場)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 医薬品、医薬部外品、医療用具、動物用医薬品、化粧品、その他化成品の製造及び販売■ 菓子、飲料、調味食品、食品添加物、その他食品の製造及び販売■ ゴルフ場の建設・経営■ 不動産の賃貸■ 前各号に関連及び付随する一切の事業		
主要な連結子会社	株式会社エースベーカーリー (愛知県小牧市)	-	バウムクーヘン・ゼリーの製造・販売
	名糖乳業株式会社 (福岡県飯塚市)	-	冷菓の製造・販売
	プリンスゴルフ株式会社 (福岡県宮若市)	-	パブリックゴルフ場
	株式会社おいもや (静岡県掛川市)	-	さつまいも菓子・スイーツの通販等
	株式会社平松商店 (静岡県掛川市)	-	干し芋及び焼き芋の製造販売
持分法適用関連会社	名糖アダムス株式会社 (愛知県清須市)	-	チューインガムの製造
従業員数 (2024年3月期末)	連結：590名 単体：386名		

企業理念

食品と化粧品に関連分野をベースとしておいしさ、たのしさ、健康を追求し
お客様に喜ばれる商品を提供します。

経営基本姿勢

- 1 お客様重視の経営
- 2 迅速、確実な仕事とたゆまぬ
創意工夫に基づく独自性のある経営
- 3 人間性を尊重し、能力、意欲を
最大限に発揮する活力ある経営

企業行動憲章

1 — 安全・安心で高品質な商品の提供

私たちは、おいしさ、たのしさ、健康を追求し、お客様にとって安全・安心で、高品質な商品やサービスを提供します。

2 — 法令等の遵守と公正・透明な事業活動

私たちは、国内外の法令・社内規則を遵守し、社会的良識をもって行動します。また、自由競争に基づく公正・透明な事業活動を行います。

3 — 社会とのコミュニケーション

私たちは、広く社会とのコミュニケーションをはかり、企業情報を正確かつ公正に適時開示します。

4 — 情報管理

私たちは、業務上知りえた機密情報・個人情報などを厳重に管理し、不正使用は行いません。

5 — 環境保全

私たちは、環境保全・省資源・省エネルギーに取組み、環境にやさしい事業活動を進めます。

6 — 社会貢献

私たちは、よき企業市民として社会の経済・文化発展に貢献します。

7 — 働きやすい職場環境

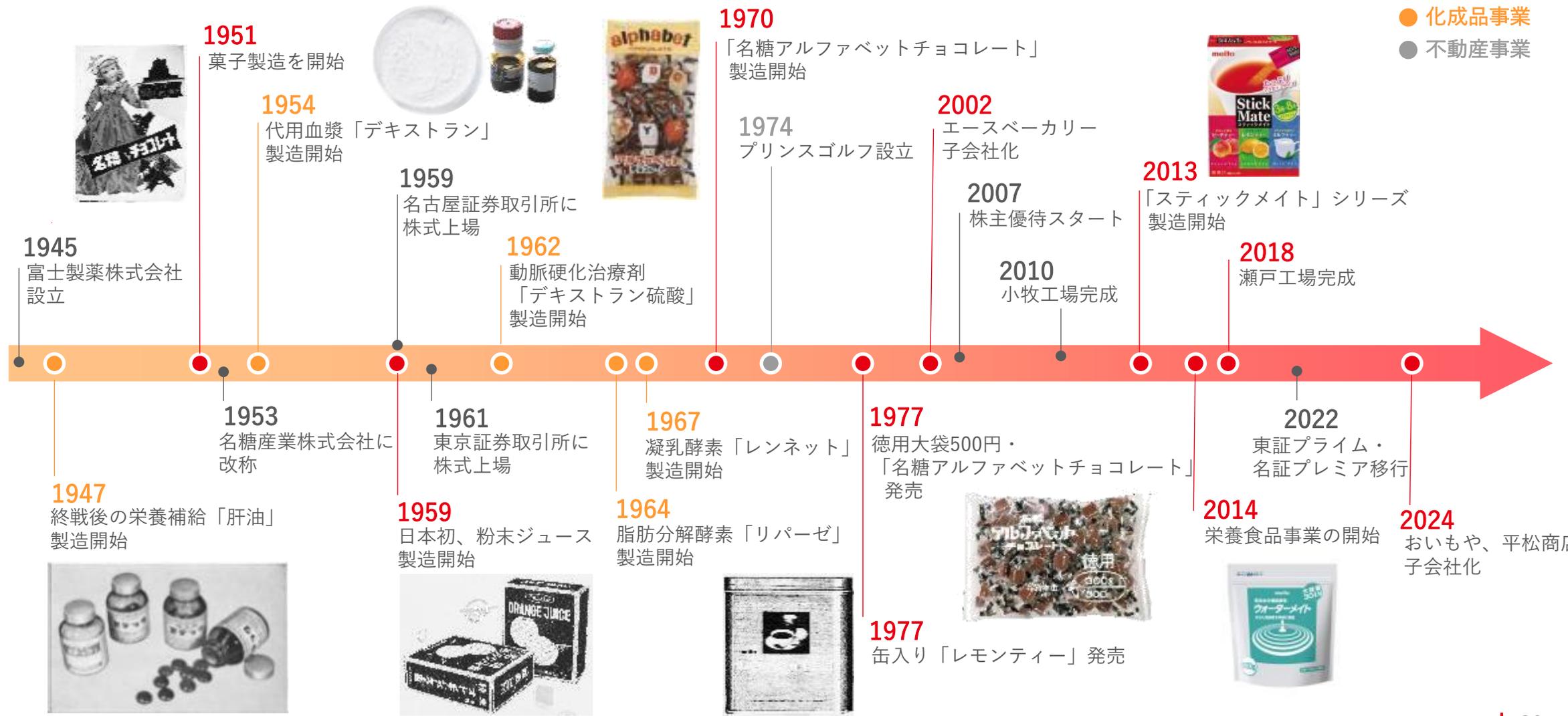
私たちは、人間性を尊重し、健康的で安全な働きやすい職場環境を確保します。

8 — 新しい技術への挑戦

私たちは、常に新しい技術に挑戦し、お客様の満足が得られる商品作りを目指します。

■ 1970年代までに構築した事業基盤を礎に、さらなる飛躍に向けた挑戦へ

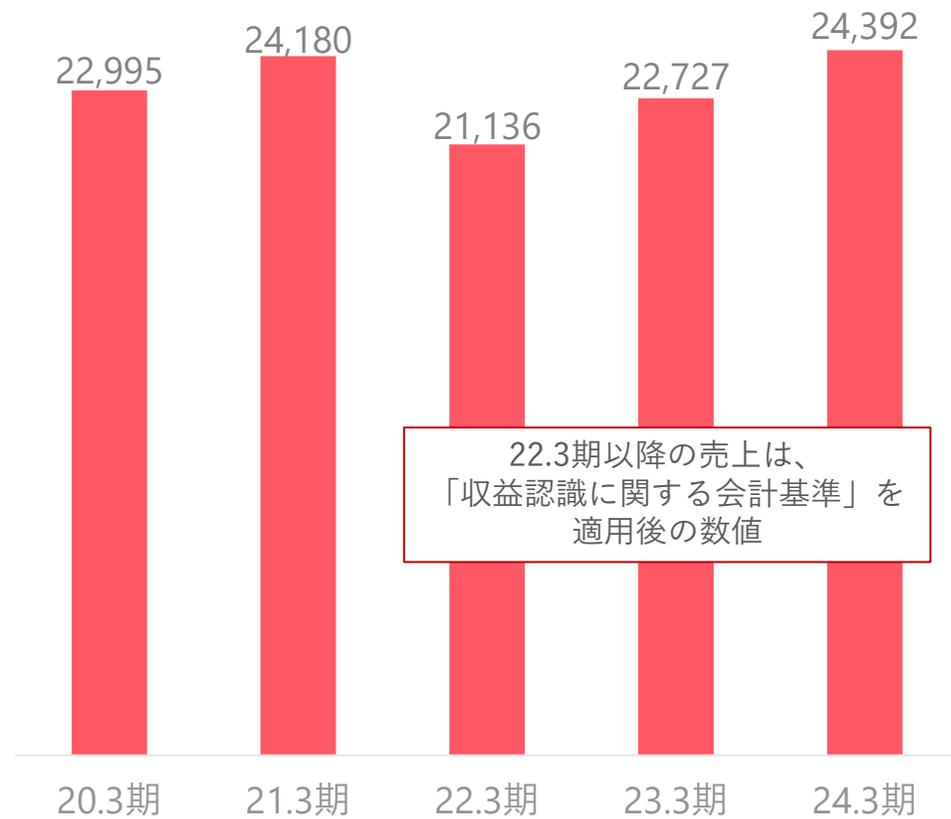
- 食品事業
- 化成事業
- 不動産事業



コロナ禍による事業環境の変化に対応し、収益を確保

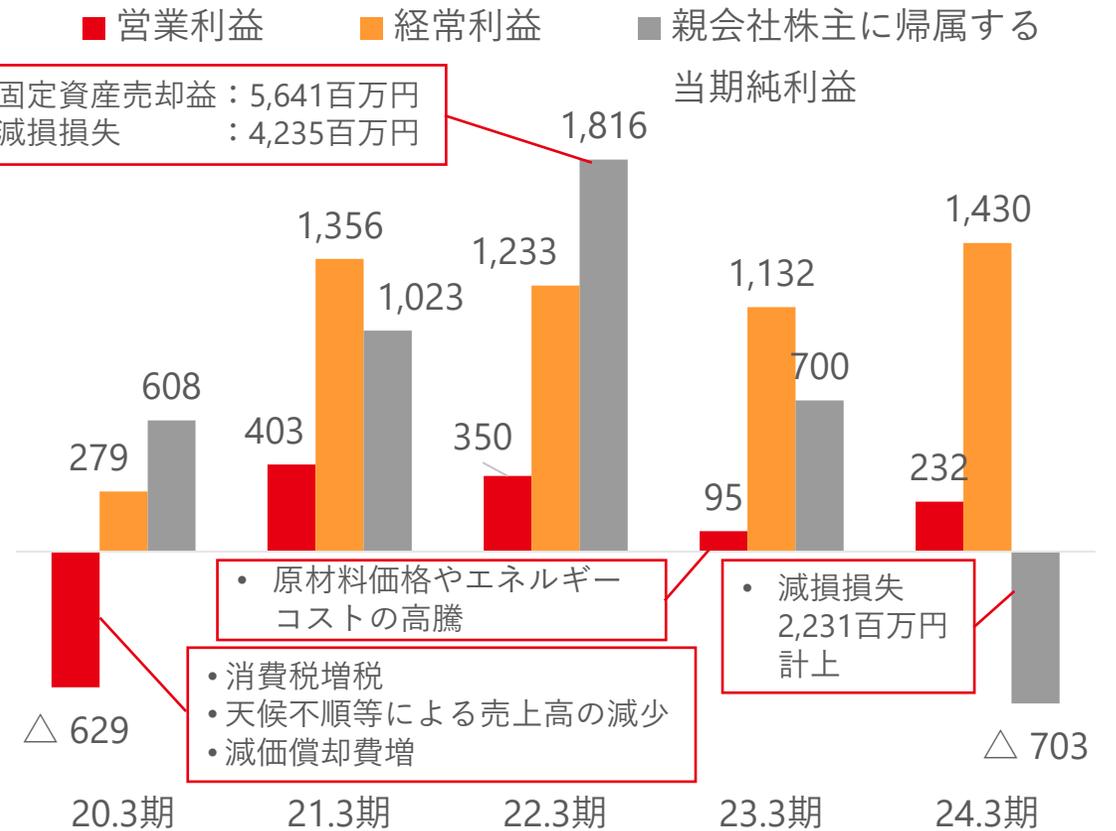
売上高

(単位：百万円)



利益

(単位：百万円)

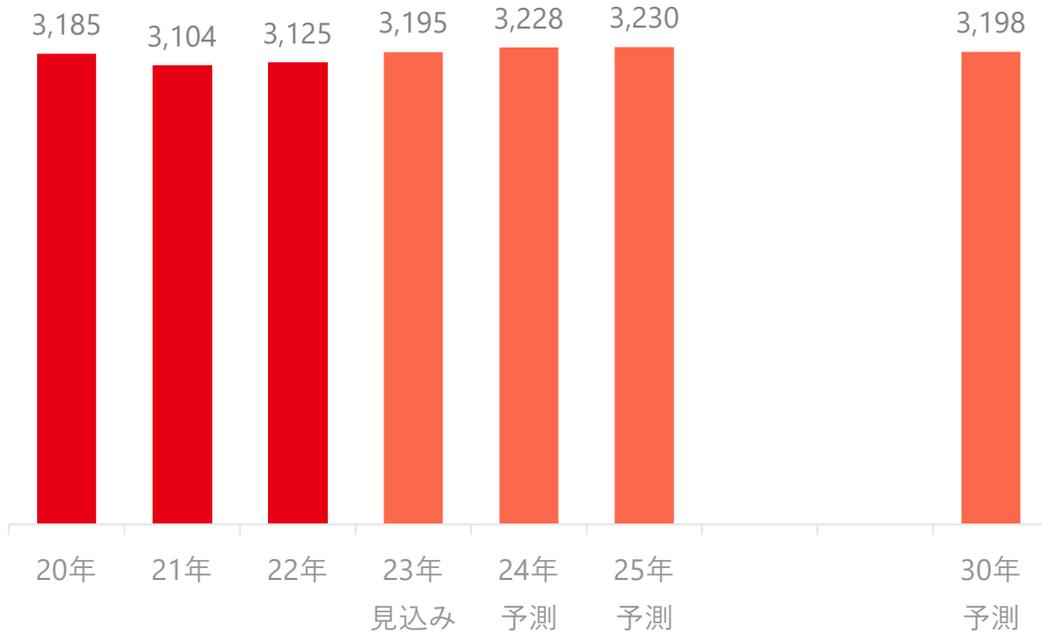


※今期子会社化したおいもやと平松商店の業績は含まれません。

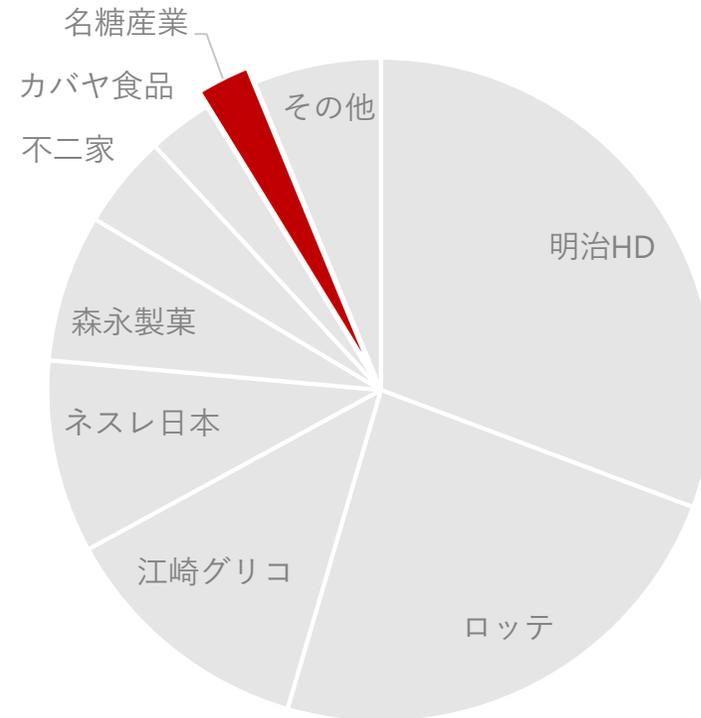
日本のチョコレート市場は2030年に向けて堅調に推移すると予測

日本のチョコレート販売額 (億円)

- 2022年は全体で値上げが行われたが、販売額ベースでは前年を上回り着地
- 2023年は、インバウンド需要の回復などが追い風となり、販売額ベースでの拡大が続く見込み



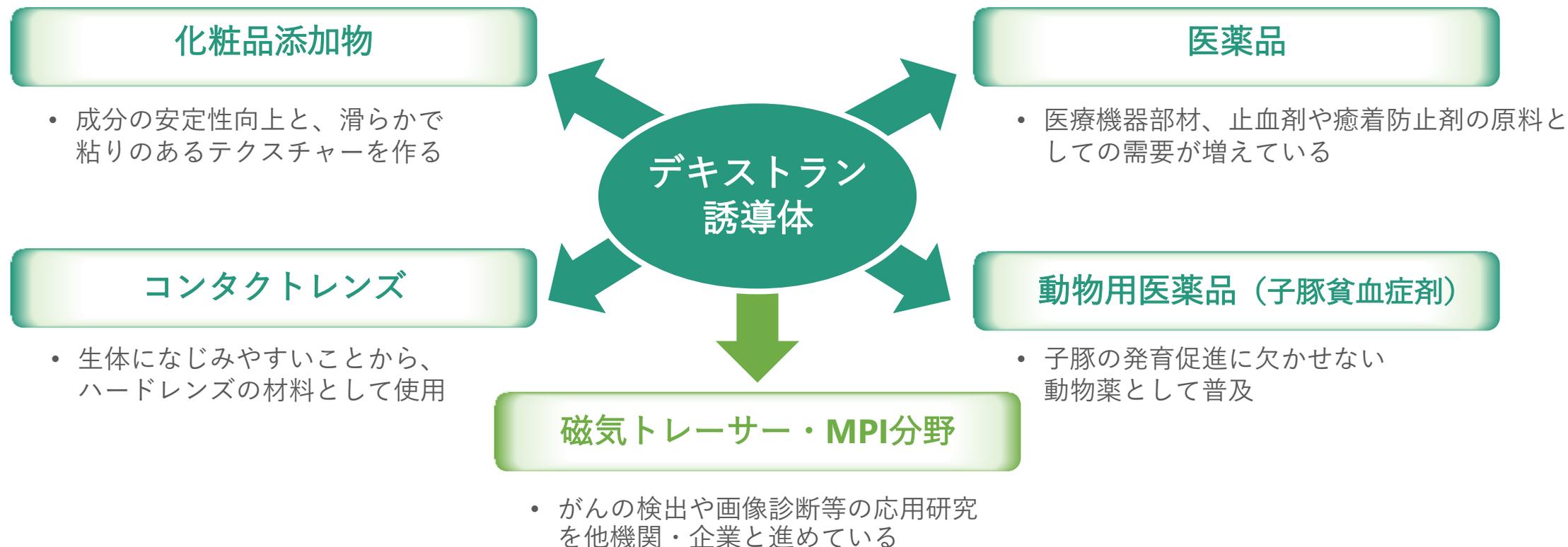
販売額ベースのシェア



出所) 富士経済「2024年 食品マーケティング便覧」より当社作成
 * 販売額はメーカー出荷ベース
 * 他社数値は2023年見込み、当社売上は23.3期実績

■ デキストラン誘導体の用途開発による潜在成長性

デキストラン誘導体の用途開発



■ チョコレートを始めとする食品事業と化成品事業を主力とする

食品事業

菓子部門

- チョコレート類
大袋チョコ、エアインチョコ ほか
- キャンディ類
- バウムクーヘン類
- ゼリー類
- 芋菓子類 ほか



粉末飲料部門

- レモンティー
- スティックメイト ほか



冷菓部門

- チョコボール、ベレレ ほか



栄養食品部門

- おいしく健康応援チョコレート ほか

化成品事業

酵素部門

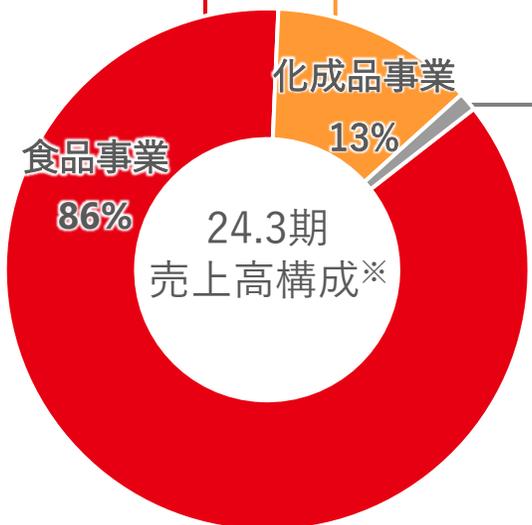
- レンネット
チーズ用凝乳酵素
- リパーゼ
脂肪分解酵素

薬品部門

- デキストラン
血漿増量剤・血流改善剤等
- デキストランマグネタイト
MRI造影剤・医療機器材料等

不動産事業

- ゴルフ場の経営・不動産賃貸



※24.3期に子会社化したおいもやと平松商店の業績は含まれません。

拠点・グループ



■ 全国の営業・生産・研究開発拠点が連携し、名糖産業の理念を实践

-  本社

-  支店 4カ所

-  化成品営業部

-  研究所／食品開発部 5カ所

-  工場 6カ所

-  主要な子会社 5カ所



- 1  東京支店
- 2  化成品営業部
- 3  東京研究所
 八王子工場
- 4  本社
 食品開発部
 名古屋支店
 名古屋工場
- 5  小牧工場
 エースベーカリー
- 6  瀬戸工場
 食品開発部
- 7  名古屋研究所
 枇杷島工場
- 8  大阪支店
- 9  福岡支店
 福岡工場
- 10  名糖乳業
- 11  プリンスゴルフ
- 12  おいもや
- 13  平松商店



本社



八王子工場



瀬戸工場



小牧工場



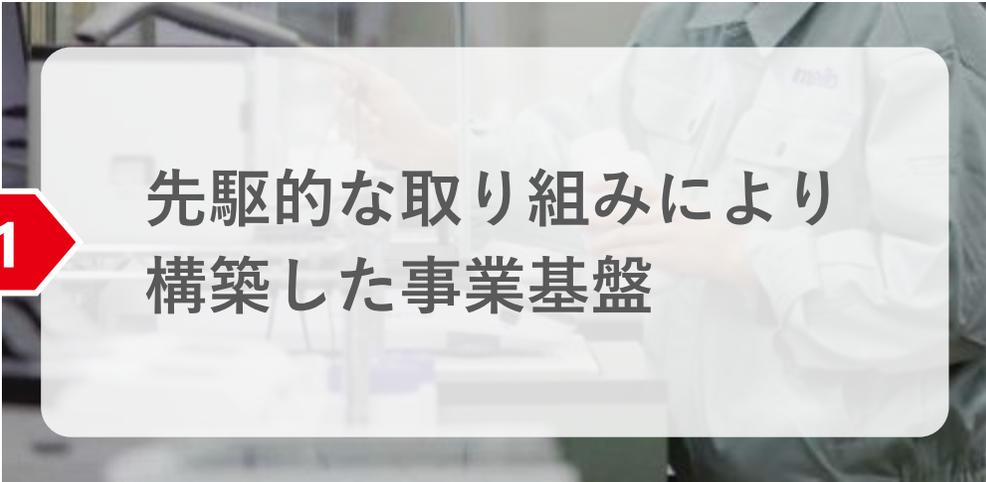
名古屋工場



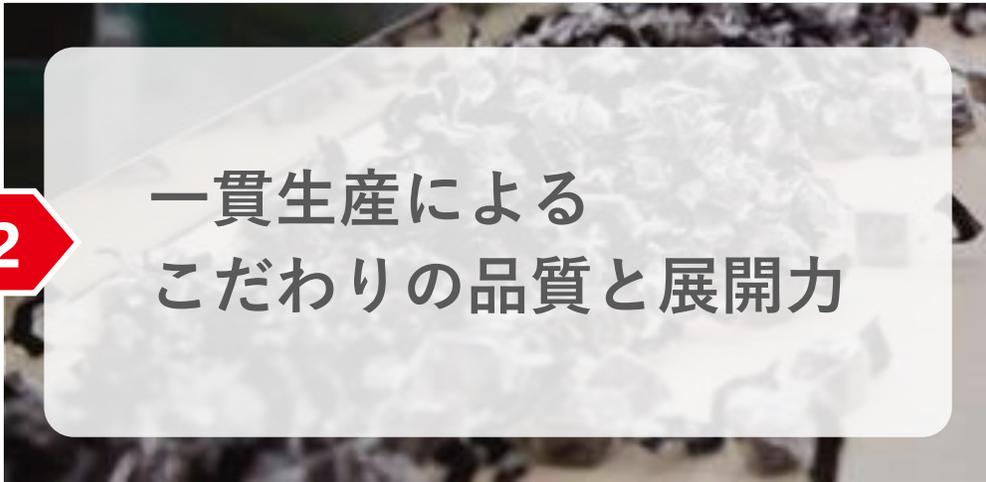
枇杷島工場



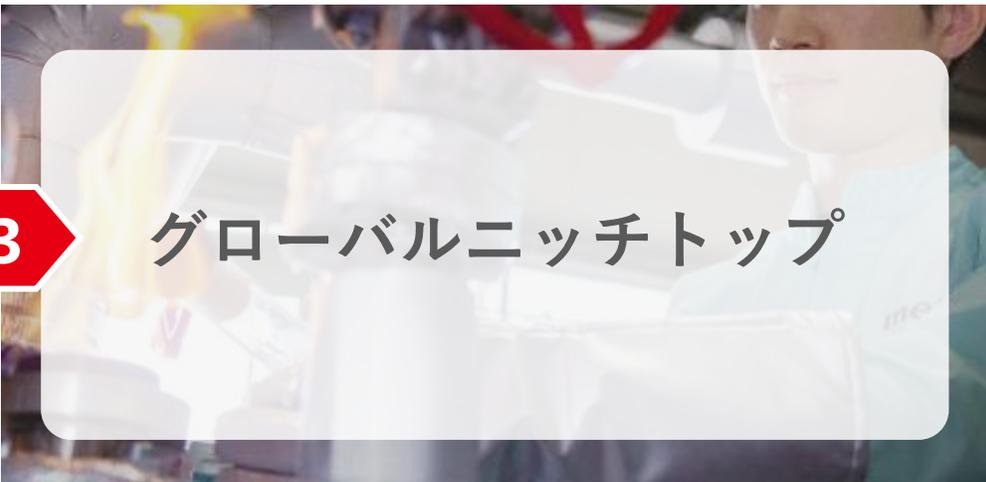
福岡工場



1 先駆的な取り組みにより
構築した事業基盤



2 一貫生産による
こだわりの品質と展開力



3 グローバルニッチトップ



4 3つの事業のバランス経営

当社の特徴・強み① 先駆的な取り組みにより構築した事業基盤



■ 独創とチャレンジが、事業化や業界標準の確立に貢献



デキストランマグネタイトの工場生産開始

- 2001年にはMRI用肝臓造影剤が欧州で認可され商業生産を開始する

1992年



徳用大袋チョコ発売

- 大袋市場の嚆矢となる

1977年

微生物レンネットを世界で初めて開発

- 動物レンネットの代替となる微生物レンネット



1964年

粉末ジュースを発売

- 砂糖に果汁、酸味料、香料、着色料を配合した画期的な商品



1959年

中身の見える個別「捻り包装」

- 時代を先取りし、製菓業界に包装革命を起こす



代用血漿デキストラン工業化に成功

- 原薬、医薬品・食品添加物、化粧品、工業用途など幅広く展開



1953年

当社の特徴・強み② 一貫生産によるこだわりの品質と展開力

meito

- 口溶けや滑らかさの食感、味づくりの決め手となる生地で差別化



一次加工から、こだわりの一貫生産

一貫生産
ならではの
展開力により、
開発に成功

- 気泡を混ぜたチョコレート「エアインチョコ」



- チョコレートの技術を生かした「栄養食品」

低GI*の糖質「還元麦芽糖」を主原料としたチョコレート



※GI：食後血糖値の上昇度合

当社の特徴・強み③ グローバルニッチトップ

meito

- 世界屈指のメーカーとして、成長軌道を歩む化成品事業



デキストラン デキストラン誘導体

🇯🇵 日本初

- 代用血漿デキストラン・MRI造影剤用途としてのデキストランマグネタイトの**工業生産**に成功

🇯🇵 日本唯一

- **大規模**な工業生産



チーズ用凝乳酵素 微生物レンネット

🌐 世界初

- 動物レンネットの代替となる微生物レンネットを**開発**

🌐 世界唯一

- 動物レンネットと同等品質の次世代微生物レンネットを**開発**



脂質関連酵素 リパーゼ・ホスホリパーゼ

🇯🇵 日本初

- 日本で初めてリパーゼの大規模な**工業生産**を開始

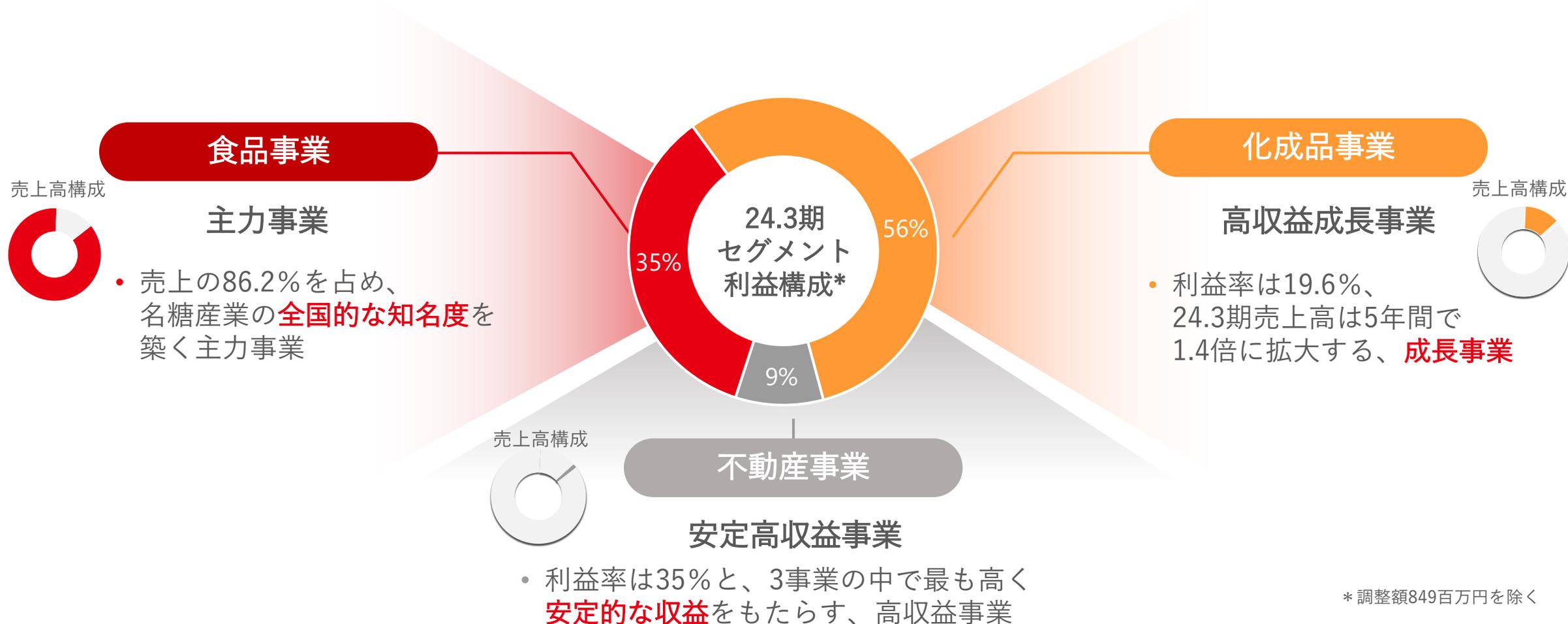
🇯🇵 日本唯一

- ホスファチジルセリン*向けのホスホリパーゼDを**工業生産**

※ホスファチジルセリン：脳機能改善やストレス対策のサプリメント

当社の特徴・強み④ 3つの事業のバランス経営

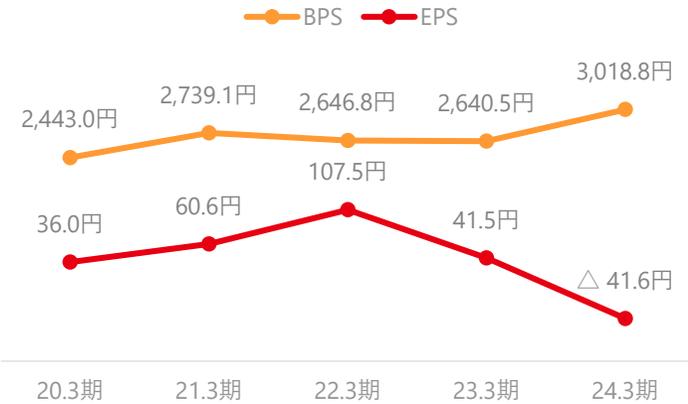
- 事業領域が異なる3つのセグメントが補完し合い、景気変動の影響を回避した安定利益を確保



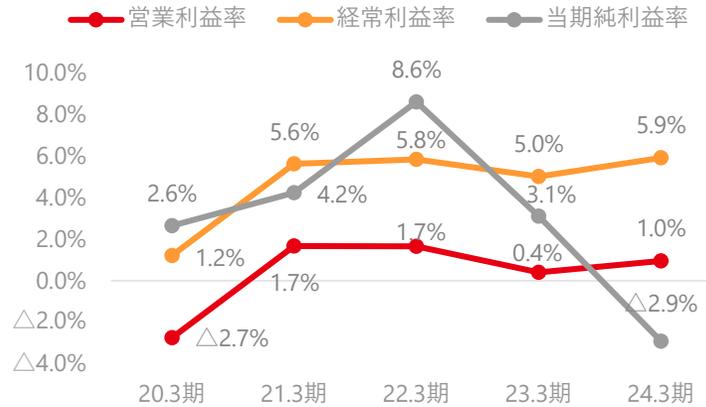
※24.3期に子会社化したおいもやと平松商店の業績は含まれません。

* 調整額849百万円を除く

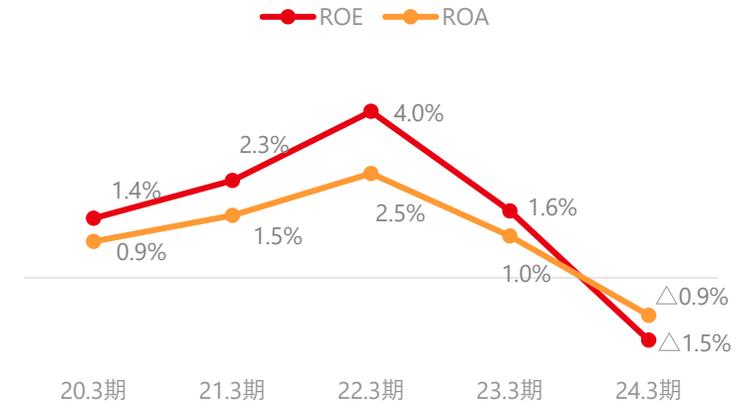
EPS・BPS (単位：円)



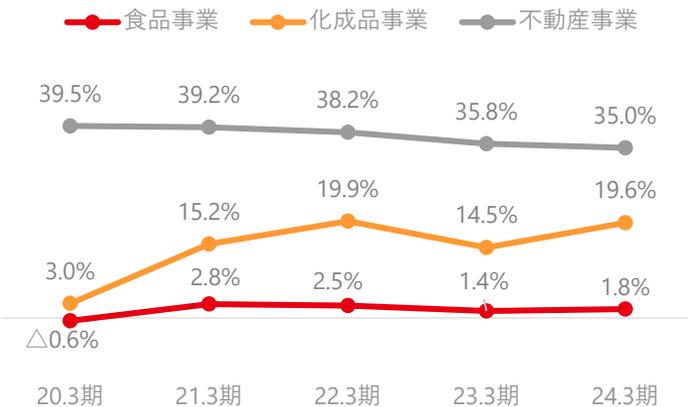
利益率 (単位：%)



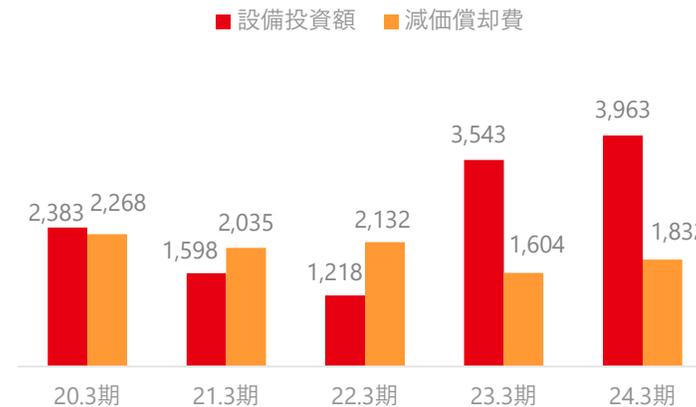
ROE・ROA (単位：%)



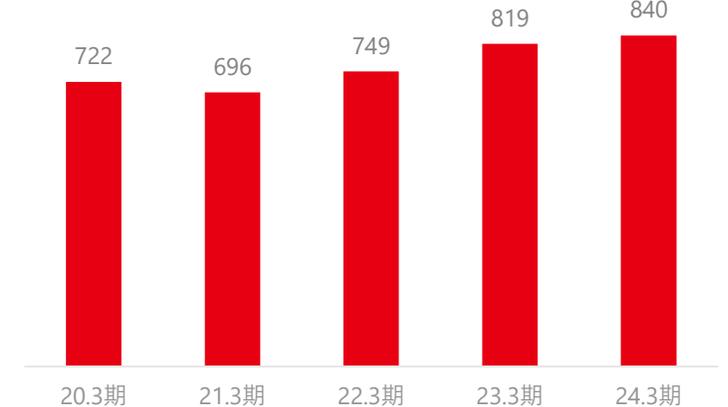
セグメント利益率 (単位：%)



設備投資額・減価償却費 (単位：百万円)



研究開発費 (単位：百万円)



各マテリアリティに対する取り組み

環境負荷削減



<共通>

- ・省エネ設備への更新
- ・環境に配慮した商品設計
- ・社内書類・提出資料の電子化、ペーパーレス化推進継続

<食品事業>

- ・瀬戸工場・小牧工場・本社に太陽光発電を設置
- ・包装材料におけるプラスチックおよび紙の使用量の削減
- ・食品工場での食品残渣の削減
- ・フードロス削減に取り組む企業と取引開始

<化成品事業>

- ・廃棄物の有効活用



小牧工場太陽光発電設備
(省エネ)



包装フィルムの薄肉化
(プラスチック削減)

食の安全安心



<食品事業>

- ・FSSC22000の運用による品質維持
- ・「おいしさ、たのしさ、健康」を追求した商品の開発

<化成品事業>

- ・FSSC22000・医薬品および医薬部外品の製造管理および品質管理規則 (GMP) の認証維持
- ・ハラール (イスラム教)、コーシャ (ユダヤ教) の認証維持



レーザープリンターによる
賞味期限印字



栄養食品商品
(健康貢献)

各マテリアリティに対する取り組み

人権・ダイバーシティの推進



<共通>

- ・ダイバーシティフォーラムの開催
- ・男性育児休業取得のための社内制度活用の推進
- ・障がい者雇用の推進
- ・eラーニングによるハラスメントの全社員教育



ダイバーシティフォーラムの様子
(2024年2月Web開催)

社会貢献活動



<共通>

- ・「令和6年能登半島地震」の復旧・復興活動に向けて、会社および社員から集まった災害義援金318万円を日本赤十字社に寄付
- ・人道支援機関の運営支援のため、国連WFP協会の評議会に入会
- ・名古屋市西区に本社のある菓子会社5社でハロウィンイベントを開催
- ・共同募金会を通じて児童養護施設などへのチョコレート寄贈
- ・直売店運営による地域との交流
- ・フードバンクへの商品寄贈



ガーナでの寄贈式典の様子

ガバナンス



<共通>

- ・取締役会の定期開催（2023年度は8回開催）
- ・指名・報酬委員会の定期開催（2023年度は4回開催）
- ・コンプライアンス委員会の定期開催（2023年度は1回開催）
- ・サステナビリティ推進委員会の定期開催（2023年度は2回開催）

取締役会の多様性

<取締役の人数と男女別>

区分	男性	女性	合計
社内	5名 (63%)	0名 (0%)	5名
社外	2名 (25%)	1名 (13%)	3名

<社外取締役の職業背景> 経営者・弁護士・公認会計士

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、様々な条件・要素によりこの計画や予想数値とは異なる結果になることがあります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

名糖産業株式会社 IR担当
E-mail:IR@meito-sangyo.co.jp